

会員数(55,4現在)

廻子地区 140名

葉山地区 214名

大船地区 61名

合計 415名

吟道月報

日本詩吟学院岳風会 認可
神奈川 石真 心 会 発行

55,4月

第93号

発行 者

根 岸 岳 萃
編 集
中 村 愛 岳
秋 元 梁 風

私と詩吟

堀内支部

白井 寿風

私は小学生の頃、隣家のおじいさんが朝に晩に何やらの本々新聞を大きな声で韻読(節をつけて読)してゐるのを耳にしました。旧制中学の漢文の老先生は詩吟が大好きで、授業中よく漢詩を吟じ時には生徒に求められて、よく吟じたりもしました。昭和のいわゆる軍国主義時代に入ると、幕末愛用詩歌集とか、興国漢詩集のたぐいが相次いで刊行され、私達の修学旅行は南は神戸の湊川神社から北は会津の白虎隊の記念碑までに及びました。軍隊に行つてからは二〇三高地(雨靈山)に登つて、当時を回想し、また旅順港を舟で廻つて玄瀬中佐の誠忠を偲びまし

た。こうした中に成長したため、漢詩の世界にはおのずと憧れをもつていました。ついで自分で吟じる機会もなく終戦を迎え、そしてあわたたしく戦後の二十年を送つてしまひました。昭和四十五年初め中村愛岳先生のおすすめでこの道に入りましが、五十半ばからのこの道は苦難の連続でした。レカレドラツラ十年近くの女月を経ることは、吟詠はやはり上手にならなければだめというまことに分りきつた事でした。そして上手になるためには詩の背景や内容を勉強する事、くり返しくり返し練習する事など大変ななあと思ひました。とにかく毎日一歩でも半歩で

も前進するところに詩吟勉強のよい点も楽しみもあるかと思われ、最後に詩吟には他の歌謡類からは体得できないいくつかの長所があります。この長所をこれから幼年層から老人層に致るまで、もっと中広く親しみ愛していただけるようになつて欲しいと常に念願してやまないものであります。

◎常任理事会ひらかる

四月十二日(土)七時より桜山会館に於て、常任理事会がひらかれ、主な議題として役員改選があり、左の如く選出されました。

- 名誉会長 松井 岳洋
- 会長 根岸 岳萃
- 相談役 加藤 秀岳
- 総務部長 三井 雲岳
- 企画部長 加藤 圭岳
- 許証部長 千葉 香岳
- 中村 幸岳

- 放務部長 小峰 桜岳
 - 広報部長 中村 愛岳
 - 会計部長 秋元 梁風
 - 逗子地区長 千葉 劔風
 - 葉山地区長 沼田 洗岳
 - 大船地区長 下條 亮岳
 - 副地区長 鈴木 萃風(新任)
 - 会計監査 井沢 潮岳
 - 竹石 憲岳
 - (以上常任理事)
 - 総務副部長 広瀬 翔風
 - 企画 村田 静風
 - 広報 杉山 雪風
- 右役員は近く開かれる理事会に於て承認され、たのち就任する事になります。
- ◎願心会連絡所を広瀬翔風さん宅に
長い間連絡所としてお骨折りいただいた竹村さんの健康上の都合で今後の連絡所を広瀬翔風さん宅にお願いする事になりました。竹村さん長い間ありがとうございました。祈健康

逗子A支部懇親会

逗子A 渡辺秀風

春とは名のみの肌寒い三月十六日、逗子A支部は二・三人の都合のつかない方をのぞき、十六名が揃い小学生の遠足の様な気分、箱根の強羅で一泊の懇親会を行いました。

箱根大文字焼の大の字がよくみえるとても静かな所です。のんびりとお湯につかり、夕食の宴が始まりました。まずは男女一人づつ、一組となり一吟、あとは無礼講のかくれ芸となりました。皆様芸達者で手品などもとび出してくる程に楽しく過しました。

幹事さんの苦心の福引に一同大笑いし、一応宴は終り、あとは二次会で部屋に帰り声も枯れる程の歌声、又支部に対する意見々、頑心会の問題点などの意見も出て盛会の中におひらきとなり各部屋に帰り、やすみました。翌朝は一同早雲山に登り楽しい思い出を残し、帰路につきました。これを機にますます支部の和をひろげたいと思います。

プロフィール……

三井雲岳先生

彼岸の入りというのに肌寒い夕方、刷りあがった月報を届けに三井先生を訪ねた。まず庭の数々の盆栽、珍らしい鉢植の草花が私の目をひきつける。久レぶりだがなお愛さん……ではないがまあちよつといわれ、ではほんの少レとお邪魔させていたな、

みると炬燵の上にコップ酒、テレビの相模喰べにゆこうと思っっているという。吟歴の古い方なら可成先生の鱧の話の思ひ出される事を思ふ。あれ以来一週間に一度は喰べる事にしているそう。まことに以て羨ましき限り。男々もめに〇〇とかという言葉があるが全く通用しない。掃除のゆきとどいた部屋はきちんと整頓され、ふとみると床の間の竹の一輪ざれに何げなく活けられた椿の花一輪……そして添えのつるが又ふときわ椿の花をひきたてている。私は茶目、ほくとなたかかと聞いた。僕が活けたんだよと、私は思わずウンと

うなつてしまつた。

五、六年前に奥様を亡くされたが、詩あり花あり、酒ありのまさに悠々自適の生き様、時々孫共来りて遊ぶという、私の夢みる老後をまさに実践されている三井先生である。

(愛岳)

(訂正)

三月月号報黒崎三名一色Cに移籍をBに、
準師範認許渡辺梁風を誠風にし、

(変更)

逗子A支部長竹村梅風さんを渡辺秀風さんに

(移籍)

井沢潮岳先生堀内支部より諏訪支部へ
増子圭風さん大船CよりAへ(C支部はなくなりませ)

(入会)

(一色B支部) 菊地邦雄 横須賀市秋谷二四九

(電) 〇四六八一五六一八二一六

(電) 〇四六八一五六一八二一六

(電) 〇四六八一五六一八二一六

(電) 〇四六八一五六一八二一六

(一色B支部) 村田 章 横須賀秋谷六五一

(電) 〇四六八一五六一八四三〇

(山口支部) 石井 庸風 葉山町上山口〇五一

(電) 〇四六八一七八一七八〇三

(堀内支部E) 加藤富美子 葉山町堀内二〇六

(電) 〇四六八一七五一一三七二三

(一色C支部) 須藤登久子 葉山町一色六一八五

(電) 〇四六八一七五一一七二六九

(諏訪支部) 飯田ひろえ 葉山町堀内一七四

(電) 〇四六八一七五一一八六一四

(木の下支部) 小峰 武 葉山町堀内九四五

(電) 〇四六八一七五一一八六二

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇

(電) 〇四六八一四一一六七九〇